

今こそ

社内研修!

派遣講師活用支援

希望の講師と
マッチング!



が応援します!!

自社社員の**人材育成研修**をしたい!

でも**講師**はどうする? **費用**も余裕がない

そんな御社に朗報です!

講師への**謝金**のうち、**8割**を助成します!



まずは
アクセス!



ステップ1 講師を探す

「育人」(はぐんちゅ)サイトにアクセス。学びたいスキルを持った講師を検索し、希望の講師のページで申込をクリック。



<https://jinzai.ocvb.or.jp/hagunchu/>

ステップ2 マッチング

OCVBが講師に派遣依頼し、講師が受諾すればマッチング完了。



ステップ3 研修計画書類の提出

企業と講師で研修内容・日程・金額等について話し合い、企業は研修計画書類を提出、講師は見積書・積算書類等を提出。

ステップ4 研修

双方の書類をOCVBが審査後、助成金額を確定。内定交付通知書を発行。いざ研修開始!



ステップ5 報告書類の提出&助成金支払

研修終了後、企業は講師へ研修費を全額振込。企業と講師は研修終了後の報告書類をOCVBへ提出。OCVBの審査終了後、企業へ助成金の振込。

事業目的について

国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成することを目的とし、沖縄県内の観光関連企業・団体が実施する「人材育成研修」及び「語学研修」事業にかかる派遣講師活用に対する支援を行う。

助成対象経費について

謝金は1時間あたり上限11,000円(うち8割を助成)
語学研修:1言語につき最大30回まで。
語学以外の研修:事業者1件につき最大10回まで。

※旅費交通費は航空運賃とフェリー代のみ実費分全額助成。
(本島から離島への往復航空代、県外からくる講師の往復航空代も全額助成) ガソリン代やレンタカー代、有料道路代、講師の宿泊費等は助成対象外。





語学研修（中国語）

小売業 週1回全25回 20名で受講

最近中華系のお客様が増えたので中国語の研修を依頼しました。日本語もペラペラのネイティブの講師が週に1回来てくれます。仕事のシフトに合わせて午前と午後2グループに分かれて受講しています。文化の違いについても学べるし、講師もとても熱心で、受講生たちも積極的に中華圏のお客様と会話できるようになりました。



マナー・接遇研修

宿泊業 1回 8名で受講

社会人基礎研修を終えたところで、さらに観光業としてプラスアルファのおもてなしの習得を目指して、派遣講師を依頼しました。経験豊富な講師の体験談に笑ったり感動したりしながら、改めてこの仕事を選んだ意味を考え、輝く自分になっているか、また来たいと思ってもらえるサービスを提供できているかを見直す良い機会になりました。東京からの航空運賃がとても全額助成で助かりました。

食物アレルギー研修

宿泊業 3回 20名で受講

修学旅行生や海外からのお客様を自宅に泊める民泊をしています。最近アレルギーを持っている人が増えたり、じーまーみ豆腐など、沖縄の料理・食材でアレルギーが出たらと考えると心配なので、講師派遣を依頼しました。講師は地元のスーパーで簡単に手に入る食材を中心にアレルギーの有無を調べてくれて、メニューや調理の仕方までとても細かく指導してくれました。



※ 観光協会などの公益団体主催で、自社職員を除いて広く参加者を募るような公益性の高い研修と認められる場合は、10割全額助成します！

講師登録も募集中！

講師登録条件

次の①～④のすべてに該当する者。語学講師の場合は①～⑦のすべてに該当する者。例外として⑧に該当する場合は登録を認める。

- ①登録する専門知識等についての講師歴が3年以上あること。
- ②国内に事業所等を置く企業等に属していること。または個人事業主。
- ③暴力団員その他の反社会的勢力に属しない者。
- ④予定された研修を全て完了できる者。
- ⑤登録する言語の語学講師の資格を有している者。英語・中国語・韓国語・その他言語について、ビジネスレベルの資格所有者。※参考（実用英語技能検定準1級・中国語検定試験準1級・韓国語能力試験5級等）
- ⑥日本語以外の言語を母国語とする者は日本語資格所有者。※参考（日本語能力試験N1等）
- ⑦登録する言語について日本人への講師歴が1年以上あること。ただし離島に在住する講師についてはこの限りではない。
- ⑧上記に該当しない場合でも、OCVB人材育成センターが審査をし、講師として適格と認める者。

研修内容について

研修対象

現在、観光客を受け入れており、県内に事業所があって、1回の研修に原則5名以上の研修受講者を予定している企業・団体。

①語学力向上のための研修／②異文化理解のための研修／③専門知識習得のための研修／④その他事業の趣旨・目的に沿った研修でOCVBが必要と認めるもの／⑤資格取得要件に含まれる研修などは認めない／⑥社会人基礎研修を受講する場合は他の研修（語学も可）も受講すること



「育人」（はぐんちゆ）サイトから講師登録申請できます→

<https://jinzai.ocvb.or.jp/hagunchu/>

